

病棟成果発表会

各病棟の目標を達成する為、
副師長としての取り組みと、
その成果について
発表会を行いました。

平成28年2月

副師長として

「プロの看護師として
質の高い看護の提供」

師長補佐

看護師を中心にすべての
質な看護を提供する

○師長代行

- ・報告・連絡・相談
- ・判断の確認

職業人としての
自立!!

○看護管理者研修

- ・実績を意識した取り組み
- ・人材の育成と活用



マッピングシートを活用し、患者看護
修正を行う。

活用し、退院後の生活を視野に入
る退院支援を行う。

予防のためのプログラムを導入する

レングスモデルと看護が見える記録

AP記録の検討会を毎週金曜日に実施。
チェックリストを作成し評価者を決め、定期的に
録の監査を実施した。

	6月	8月	12月
マッピングシート使用	5名	15名	46名
チェックリスト作成	6名	19名	48名
録の反映	3名	8名	36名



録の監査や関東厚生局の監査結果から
実践した記録が来ているとの評価を受けた。



2、働きやすい職場環境作りに 取り組む

- ・「カミサマナイス」の実践をとおし、職場の活性化
を図る。・お互いの立場に立った連絡・報告・相談
ができる。
- ・インシデントやリスクを共有し、同じ内容の配薬事
故を昨年より10%減らす。・暴力防止のスキルを
高め、暴力事故を昨年より10%減らす。

患者の健康管理能力を高める

□健康プログラムの立ち上げ

- ・毎週金曜日にユニット患者と合同で実施
- ・瞑想を5分間実施後、前半は約30分間、座学で健
生活習慣病・運動の必要性などについてレクチャー
後半はフィットネス（音楽に合わせて身体を動かす、
エアロビクスの運動）約30分間実施。

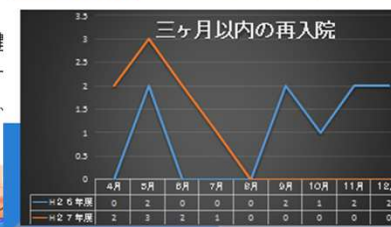
アンケート結果

参加して健康面への意識が高まったり、音楽に
乗って身体を動かすことが、楽しく気分転換につ
なっていたという反応が半数以上であった。



退院前訪問を活用し、退院後の生活を 視野に入れた具体的な退院支援を行う

	25年	26年	27年
退院前訪問	16件	34件	46名



PTCによる
指導



はじめに

この施設は、地域の医療機関と連携し、地域に根ざしたケアを提供することを目的としています。また、地域住民の健康増進と生活の質の向上に貢献することを目指しています。



3、人材の育成と活用

- 師長、副師長でリーダー申請に向けた面接をおこない、スタッフの能力開発に向け取り組むことが出来た。
- ◎スタッフ29人中→28人が申請済み

リーダー研修の参加数

Ⅱ：2名(1名)
Ⅲ：10名(8名)



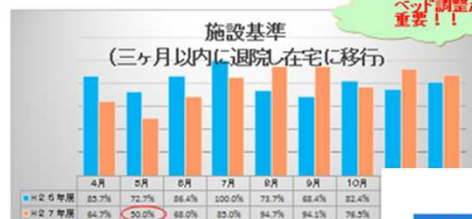
素敵な言葉「カミサマナイス」

カ…感動するね
ミ…見習いたいね
サ…さすがだね
マ…真似したいね
ナ…なるほどね
イ…いいね
ス…素晴らしいね



チーム間の連携とモチベーションの維持

4、病棟の機能、役割を果たす



ベッド調整が重要！！

	平成26年度	平成27年
退院前訪問	34件	47件
多職種カンファレンス	44件	75件

その他の取り組み(一部)

- ・精神科認定看護師資格取得研修に取り組む佐藤さんのサポート
- ・精神科認定看護師資格取得実習の受け入れ(小諸高原病院:山崎)
- ・監査対応

今後の課題(副師長)

- 1、師長と連携を強化
- 2、実践のリーダーとしてスタッフへのタイムリーな指導助言
- 3、スタッフのモチベーションを上げ主体的に取り組めるようなスタッフへ介入



成果発表

